

(様式2)

平成28年6月7日

守谷市議会

議長 梅木 伸治 様

委員会名 決算予算特別委員会

委員長名 高橋 典久

守谷市議会一般会議を下記のとおり開催しましたので報告いたします。

記

1 開催日時	平成28年6月7日(火) 午後2時50分～午後3時35分
2 開催場所	守谷市役所 大会議室
3 議 題	青少年相談員事業の現状について
4 出席委員名	高梨恭子, 青木公達, 渡辺 大士, 砂川 誠, 堤 茂信, 寺田文彦, 佐藤弘子, 松丸修久
5 参加市民の範囲 及び参加人数	(事務局) 飯塚課長, 染野係長, 山口主任 (青少年相談員) 霞氏, 山之内氏, 小川氏, 成嶋氏, 椎名氏, 黒柳氏 (学校関係者) 浜野氏, 西成氏 合計11名

【主旨】

- ・青少年相談員事業の現状について、青少年相談員よりヒヤリングを行った。

【青少年相談員経歴】

- ・霞氏は3年、山之内氏は12年、小川氏は12年、成嶋氏は13年、椎名氏は10年、黒柳氏は1年目。

【主な発言要旨】

- ・パトロールの時間帯(16時くらい～)で駅の周り中心に行っている。
- ・パトロールは月1回。店舗登録活動は7月に行っている。

- ・これまで積極的な活動は少なかったかも知れない。
- ・実際に相談を受けても責任を持ってないので難しい。
- ・パトロールを夜7時から行うことも検討している。
- ・登録店80店舗の様子を広報に載せるようなことも検討している。
- ・お店もチェーン店が多くなり、店主不在等で話しをちゃんと聞いてもらえないことが多い。チェーン店ということで、協力店の要請をして断わられることがある。
- ・協力店には子供たちへの指導等のお願いはしているが、店舗から指導の報告はない。

Q) パトロールをしていて、実際にたむろしている子供はいるか。

A) 15-16時のパトロールでは子供たちに会うことはほとんどない。

Q) 夜9-10時にパトロールをするというのは難しいと思うが。

A) 今はそこまで求められていない。ワッペン等を付けることで、抑止力という形で携わっている。

Q) 相談は具体的にどうやって受けているか。

A) 相談員という名前ではあるが、茨城県の場合は環境を整えるという意味合いが強い。

Q) ボランティアでやっていただいているモチベーションはどこにあるか。

A) 守谷市を愛しているという純粋な気持ちでやっている。

Q) やり始めたきっかけは何か。

A) 前任者からの引継ぎ、育成会からの要請、市の要請、友人の相談員からの誘い、等。

Q) 学校関係者から見て青少年相談員の意義はどうか。

A) 教員が見ているのと地域の方が見ているのでは、子供の受け止め方が違う。

A) 教員時代に青少年相談員とは関わりはなかったが、小学生とはいえ夜9時過ぎに一人歩きをしているような実例があり、地域との連携は大切だと感じていた。

A) 親に怒られて街に飛び出した子供が「子供を守る110番」の看板のある家に飛び込んだ例があり、いざとなった時には大事だと感じる部分がある。

Q) この事業を拡充, 維持, 縮小を事業仕分けの中で考えなければいけない。
地域を上げた形もあると思うがどうか。

A) 地域での連携はこれまでは行っていない。相談を行っているわけではないので地域に1人ずついる必要はないと思う。やれる範囲の中でやって来たからこれまで続けてきたのだと思う。

以上